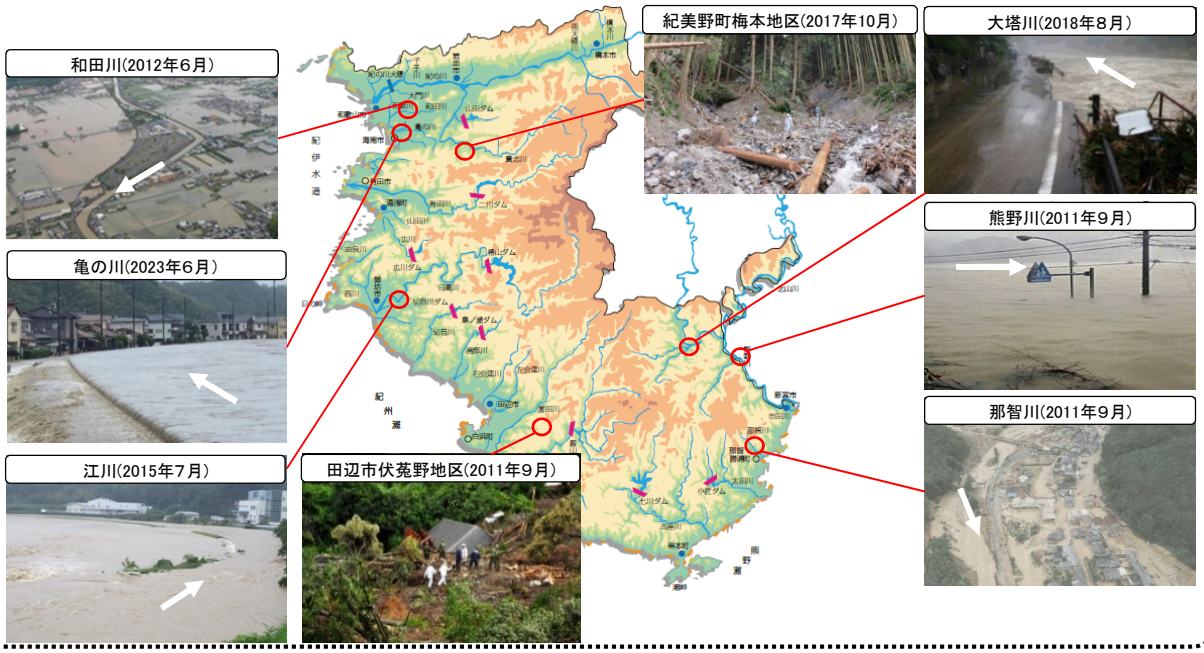
2. 河川、砂防、下水道

風水害、土砂災害対策　　防災・減災、県土の強靭化

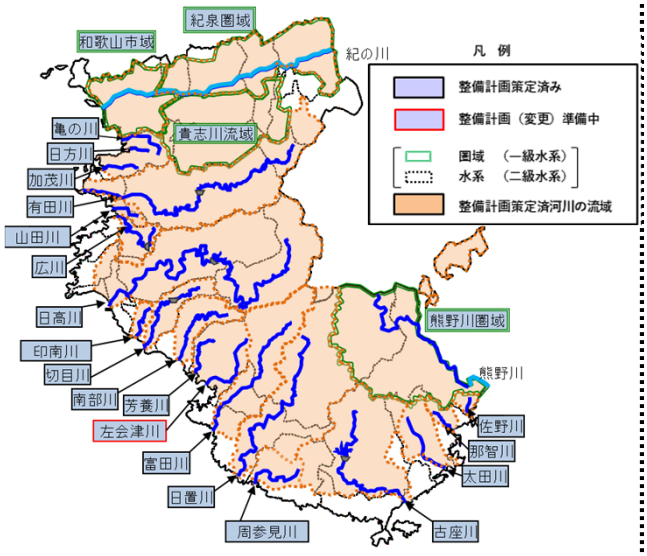
【近年の主な災害】 台風や豪雨等により、県内各地で浸水被害や土砂災害が発生しています。



【河川の整備】

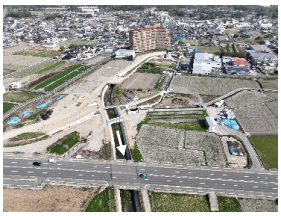
浸水被害の軽減に向け、河川整備計画に基づき七瀬川や熊野川などで河道拡幅や護岸整備などを進めています。

河川整備計画は、19水系4圏域で策定済であり、流域面積の約9割※に及んでいます。



※流域面積カバー率 ＝ 整備計画策定面積 ／ 流域面積（一級河川・二級河川）

河川整備計画策定状況（2025年4月時点）



七瀬川（河道拡幅）整備状況

熊野川（輪中堤）整備状況

【流域治水の推進】

気候変動を踏まえ、流域のあらゆる関係者で行う水災害対策「流域治水」に取り組んでおり、20水系で「流域治水プロジェクト」を策定しています。

各関係機関との連携をより強固にして、治水対策をさらに加速化しています。

「流域治水」のイメージ

【災害復旧】

台風や豪雨により、公共土木施設が被災した場合、国の災害復旧事業を活用し、速やかな復旧を行っています。

災害復旧助成事業によって復旧した那智川
（2011年発生災害）

風水害、土砂災害対策　　防災・減災、県土の強靭化

【県内ダムの事前放流】

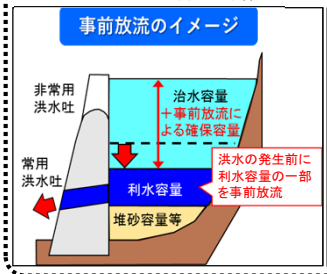
洪水被害の軽減を図るため、県内７つすべてのダムにおいて事前放流を運用しています。

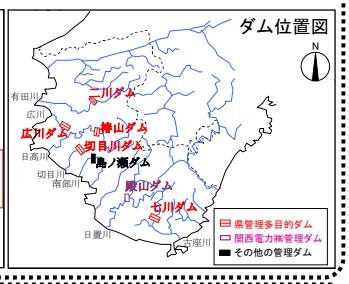
<事前放流運用ダム>

○2012年6月～（県管理）二川ダム、椿山ダム、七川ダム、（関西電力㈱管理）殿山ダム

○2021年6月～（県管理）広川ダム、切目川ダム、(南紀用水土地改良区管理）島ノ瀬ダム

事前放流：異常洪水が予想される場合にあらかじめ可能な限り水位を低下させ、水を貯める容量を確保する。





【土砂災害防止施設の整備】

防災拠点や避難場所のほか、老人ホームなどの要配慮者利用施設を守るため、砂防堰堤等の施設整備を重点的に実施しています。

砂防堰堤整備状況
（妙見谷川：日高川町）

がけ崩れ対策状況
（六十谷地区：和歌山市）

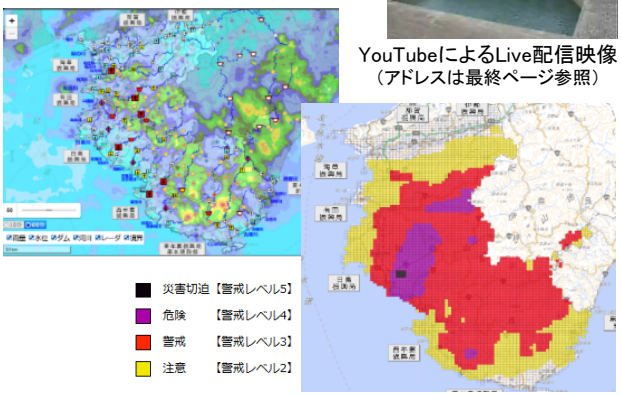
【河川水位等の防災情報の提供】

迅速な避難行動の支援として、県HP及びNHKやテレビ和歌山のデータ放送では、河川水位、雨量、土砂災害警戒情報、気象情報など、リアルタイムの情報を見ることができます。

また、YouTubeでは河川の状況をLive配信しています。

NHK、テレビ和歌山（dボタンで）

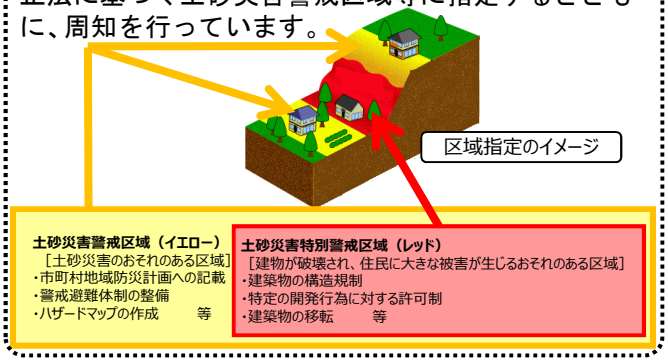
YouTubeによるLive配信映像
（アドレスは最終ページ参照）



県HP(和歌山県河川／雨量防災情報)

【土砂災害警戒区域等の周知】

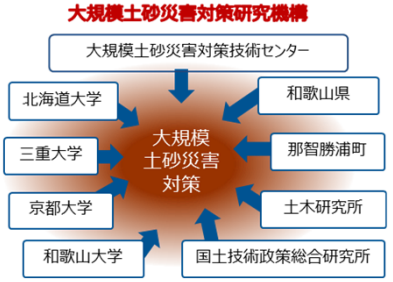
土砂災害のおそれのある区域について、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等に指定するとともに、周知を行っています。



【土砂災害に関する研究・啓発の推進】

那智勝浦町にある和歌山県土砂災害啓発センターでは、大規模土砂災害対策技術センターなどと連携し、土砂災害に関する研究活動を進めるとともに、土砂災害に関する啓発活動や情報発信を行っています。

防災学習の様子



生活排水処理の向上　　住みやすい、住みたいまちづくり

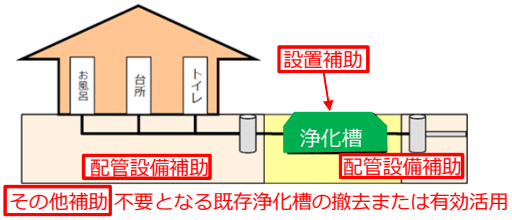
本県の汚水処理人口普及率は2023年度末で70.7%と、全国平均の93.3%に比べて低く、下水道や合併処理浄化槽等のそれぞれの特長を生かした効率的、効果的な汚水処理施設の整備を促進しています。

【下水道の整備推進】

流域下水道事業として、伊都、那賀浄化センターの整備を推進するとともに市町村が実施する公共下水道事業を促進しています。

伊都浄化センター

那賀浄化センター

【合併処理浄化槽の整備促進】

下水道等整備区域以外では、合併処理浄化槽の整備を促進します。特に、合併処理浄化槽への転換については、補助メニューの拡充を図り、整備を促進しています。